




# Dell™ 1209S プロジェクタ ユーザーガイド

## メモ、注意、警告

-  **メモ:**「メモ」は、プロジェクトの使用に際して役立つ重要な情報です。
-  **注意:**「注意」は、ハードウェアの破損やデータの損失を防ぐ方法について記載しています。
-  **警告:**「警告」は、物的損害、人的傷害、もしくは死につながる潜在性を意味します。

---

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2008 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標: *Dell*、*DELL* ロゴ、*Dimension*、*OptiPlex*、*Dell Precision*、*Latitude*、*Inspiron*、*DellNet*、*PowerApp*、*PowerEdge*、*PowerConnect*、*PowerVault* は Dell Inc. の商標です。DLP および DLP® ロゴは TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は Microsoft Corporation の商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル 1209S

2008 年 5 月 改訂 A01

# 目次

1	プロジェクタについて	5
	プロジェクタについて	6
2	プロジェクタの接続	7
	コンピュータの接続	8
	VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続	8
	DVI-D ケーブルを使ったコンピュータの接続	9
	RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続	10
	DVD プレーヤーの接続	11
	S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	11
	コンポジットケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	12
	コンポーネントケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	13
	HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続	14
3	プロジェクタの使用方法	15
	プロジェクタの電源を入れる	15
	プロジェクタの電源を切る	15
	投影画像の調整	16
	プロジェクタの高さを上げる	16
	プロジェクタの高さを下げる	16

プロジェクトのズームとフォーカスの調整 . . . . .	17
投影画像サイズの調整 . . . . .	18
コントロールパネルの使用方法 . . . . .	19
リモコンの使用方法 . . . . .	21
オンスクリーンディスプレイの使用方法 . . . . .	22
メインメニュー . . . . .	23
入力選択 . . . . .	23
自動調整 . . . . .	23
設定 . . . . .	24
ピクチャ (PC モード) . . . . .	25
ピクチャ (ビデオモード) . . . . .	26
表示 (PC モード) . . . . .	27
表示 (ビデオモード) . . . . .	28
ランプ . . . . .	29
言語 . . . . .	30
その他 . . . . .	31
4 プロジェクタのトラブルシューティング . . . . .	34
ランプの交換 . . . . .	38
5 仕様 . . . . .	40
6 Dell™ へのお問い合わせ . . . . .	44
7 付録：用語集 . . . . .	45

## プロジェクタについて

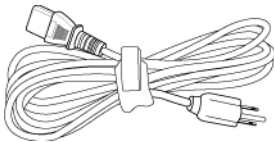
このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell™ までご連絡ください。

---

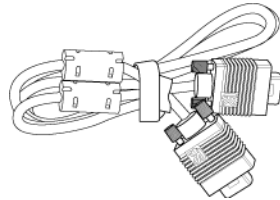
### 同梱されているもの

---

電源ケーブル



1.8m VGA ケーブル (VGA - VGA)



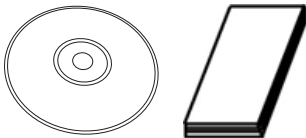
CR2032 電池



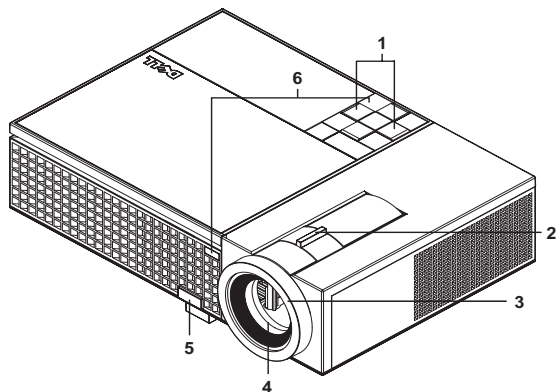
リモコン



CD ユーザーガイドおよびドキュメント




## プロジェクタについて



1	コントロールパネル
2	ズームタブ
3	フォーカスリング
4	レンズ
5	エレベーターボタン
6	IR レシーバ

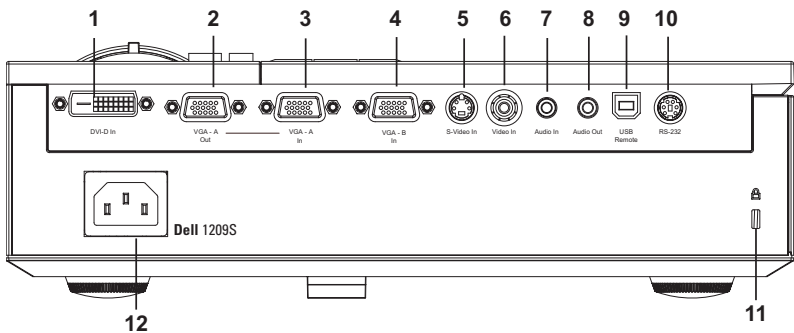
### 警告：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。

 **メモ：**詳しくは、プロジェクタに添付されている製品情報ガイドをご覧ください。

# 2

## プロジェクトタの接続

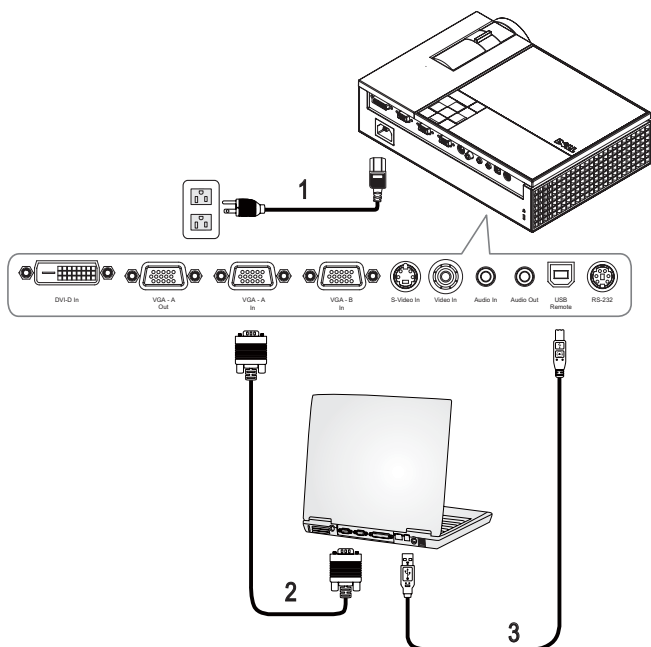


1	DVI-D 入力コネクタ
2	VGA-A 出力 (モニターループスルー)
3	VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ
4	VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ
5	S ビデオコネクタ
6	コンポジットビデオコネクタ
7	オーディオ入力コネクタ
8	オーディオ出力コネクタ
9	USB リモートコネクタ
10	RS232 コネクタ
11	セキュリティケーブルスロット
12	電源コードコネクタ

**!** **警告:** この章で説明する交換処理の前に、ページ 6にある「安全上のご注意」をお読みください。

# コンピュータの接続

## VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB - USB ケーブル



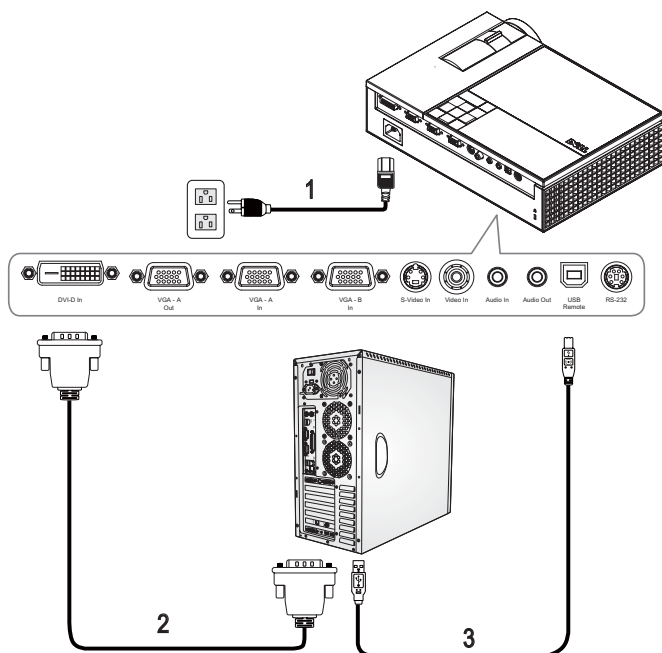
**メモ：**USB ケーブルは付属していません。




**メモ：**リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、USB ケーブルを接続する必要があります。



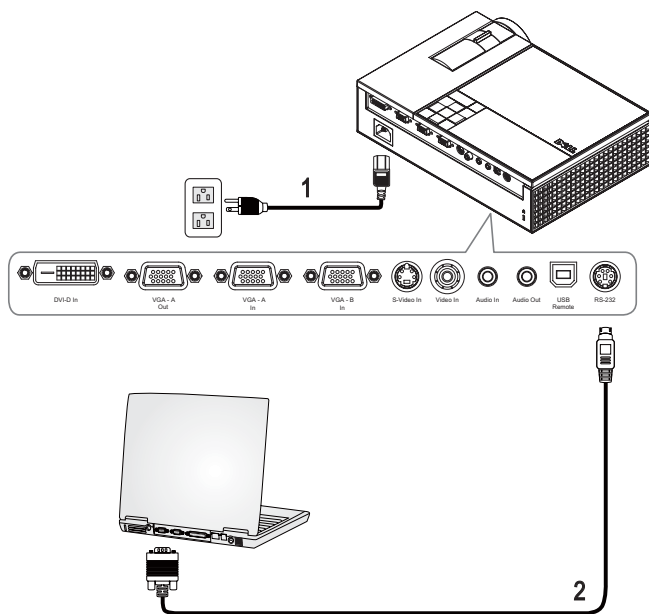
## DVI-D ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源コード
2	DVI-D ケーブル
3	USB - USB ケーブル

 **メモ** : USB ケーブルと DVI-D ケーブルは付属していません。

## RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続



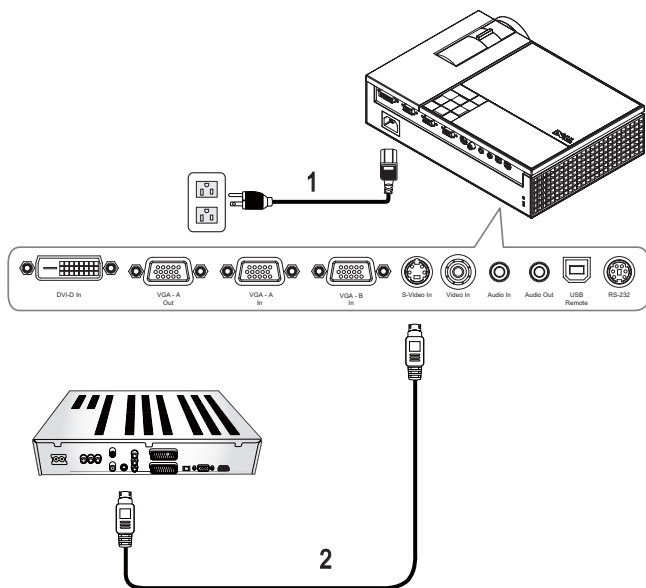
1	電源コード
2	RS232 ケーブル



**メモ:** RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルと RS232 リモコンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせください。

# DVD プレーヤーの接続

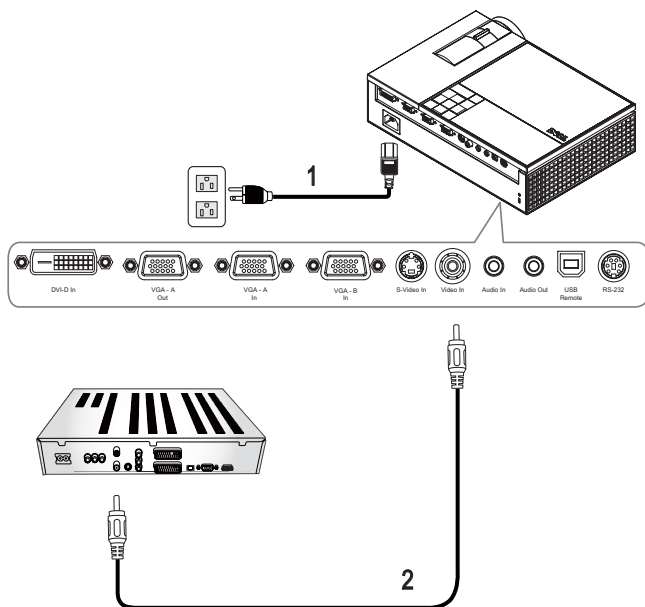
## S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	S ビデオケーブル

**メモ** : S ビデオケーブルは付属していません。デルの Web サイトで S ビデオ延長 (50ft/100ft) ケーブルをお買い求めいただけます。

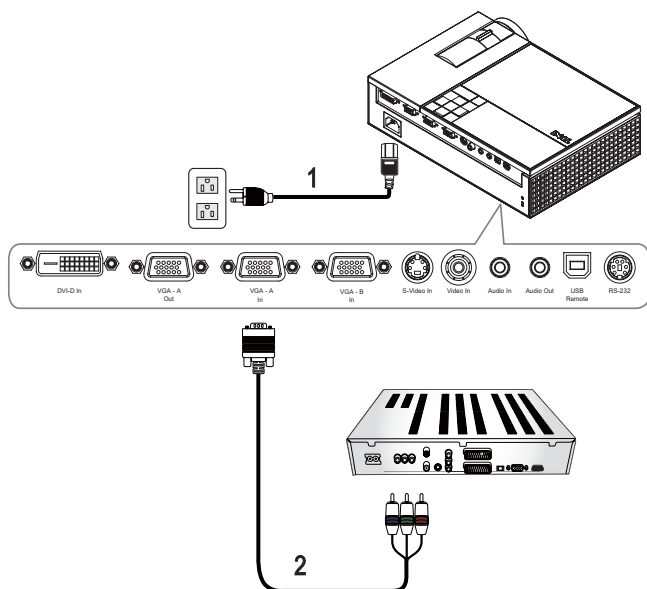
## コンポジットケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



1	電源コード
2	コンポジットビデオケーブル

**メモ:** コンポジットケーブルは付属していません。デルの Web サイトでコンポジットビデオ延長 (50ft/100ft) ケーブルをお買い求めいただけます。

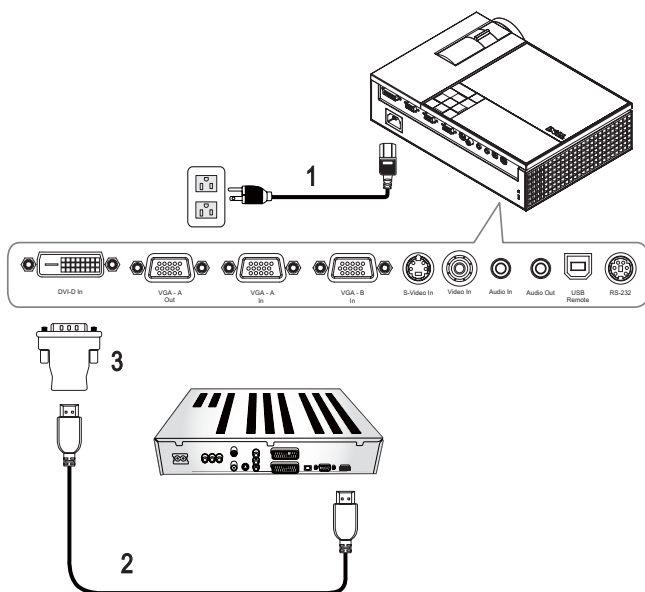
## コンポーネントケーブルを使った DVD プレーヤーの接続




1	電源コード
2	VGA - YPbPr ケーブル

**メモ:** VGA - YPbPr ケーブルは付属していません。デルの Web サイトで VGA - YPbPr 延長 (50ft/100ft) ケーブルをお買い求めいただけます。

## HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続




1	電源コード
2	HDMI ケーブル
3	DVI-D アダプタ

 **メモ** : HDMI ケーブルと DVI-D アダプタは付属していません。

# プロジェクタの使用方法

## プロジェクタの電源を入れる


 **メモ:** プロジェクタの電源を入れてから、ソースの電源を入れます。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅します。

- 1 レンズキャップを外します。
- 2 電源コードと適切な信号ケーブルを接続します。プロジェクタの接続については、「プロジェクタの接続」 ページ 7 を参照してください。
- 3 電源ボタンを押します（電源ボタンの位置については、「コントロールパネルの使用方法」 ページ 19 を参照してください）。
- 4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。プロジェクタが自動的にソースを検出します。
- 5 電源が入ると Dell ロゴが 30 秒間表示されます。


「信号を検索中です…」 というメッセージが画面に表示される場合は、適切なケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。

プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。

## プロジェクタの電源を切る

 **注意:** プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。
- 2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 90 秒間作動します。
- 3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを押します。

 **メモ:** プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

- 4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

**メモ**：プロジェクタが作動中に電源ボタンを押すと、「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」というメッセージが画面に表示されます。このメッセージを消すには、コントロールパネルのメニューボタンを押すか、または、メッセージを無視します。メッセージは5秒後に消えます。

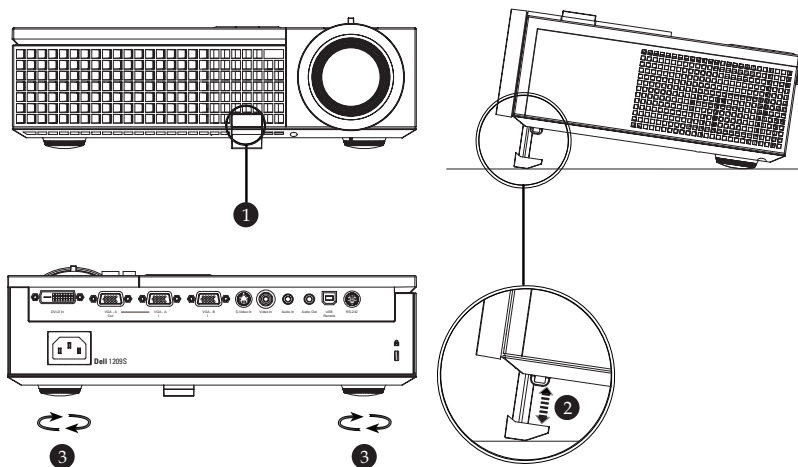
## 投影画像の調整

### プロジェクタの高さを上げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを任意の高さまで上げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。
- 3 傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

### プロジェクタの高さを下げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを下げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。



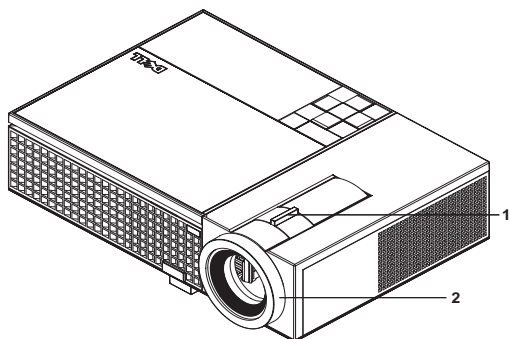
1	エレベーターボタン
2	エレベーターフット
3	傾斜調整ホイール



## プロジェクタのズームとフォーカスの調整

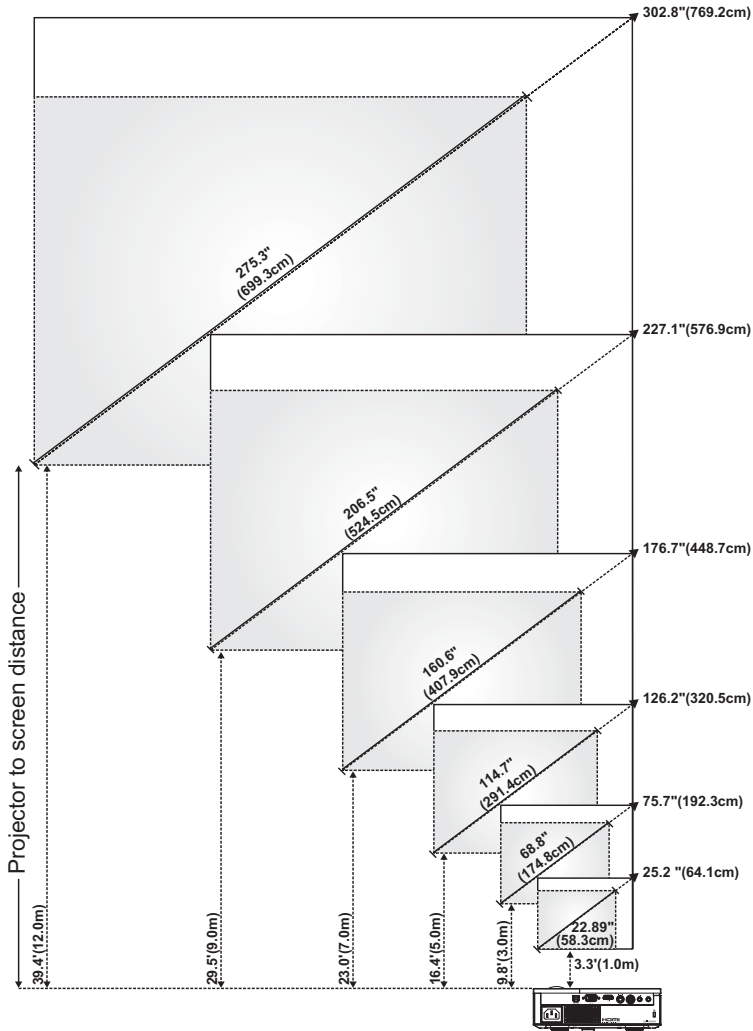
**⚠ 警告:** プロジェクタを移動する場合には、ズームレンズとエレベーターフットが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

- 1 ズームタブを回して拡大または縮小します。
- 2 画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 3.3 ft ~ 39.4 ft (1.0 m ~ 12 m) です。



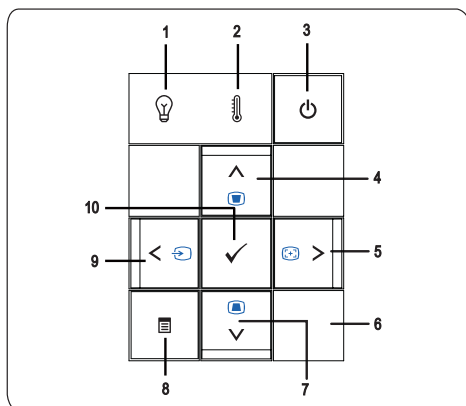
1	ズームタブ
2	フォーカスリング

# 投影画像サイズの調整







画面 (対角線)	最大	25.2" (64.1cm)	75.7" (192.3cm)	126.2" (320.5cm)	176.7" (448.7cm)	227.1" (576.9cm)	302.8" (769.2cm)
	最小	22.89" (58.3cm)	68.8" (174.8cm)	114.7" (291.4cm)	160.6" (407.9cm)	206.5" (524.5cm)	275.3" (699.3cm)
画面サイズ	最大 (幅 x 高さ)	20.2"X15.1"	60.6"X45.4"	101.0" X 75.7"	141.3" X106"	181.7" X 136.3"	242.3" X 181.7"
		(51.3cm X 38.5cm)	(153.8cm X 115.4cm)	(256.4cm X 192.3cm)	(359.0cm X 269.2cm)	(461.5cm X 346.2cm)	(615.4cm X 461.5cm)
	最小 (幅 x 高さ)	18.3" X 13.7"	55.1" X 41.3"	91.8" X 68.8"	128.5" X 96.4"	165.2" X 123.9"	220.3" X 165.2"
		(46.5cm X 34.9cm)	(139.9cm X 104.9cm)	(233.1cm X 174.8cm)	(326.3cm X 244.8cm)	(419.6cm X 314.7cm)	(559.4cm X 419.6cm)
Hd	最大	2.27" (5.8cm)	6.81" (17.3cm)	11.36" (28.8cm)	15.9" (40.4cm)	20.44" (51.9cm)	27.26" (69.2cm)
	最小	2.06" (5.2cm)	6.19" (15.7cm)	10.32" (26.2cm)	14.45" (36.7cm)	18.58" (47.2cm)	24.78" (62.9cm)
投影距離		3.3' (1.0m)	9.8' (3.0m)	16.4' (5.0m)	23.0' (7.0m)	29.5' (9.0m)	39.4' (12.0m)
* この表はユーザーの参照用です。							

## コントロールパネルの使用方法

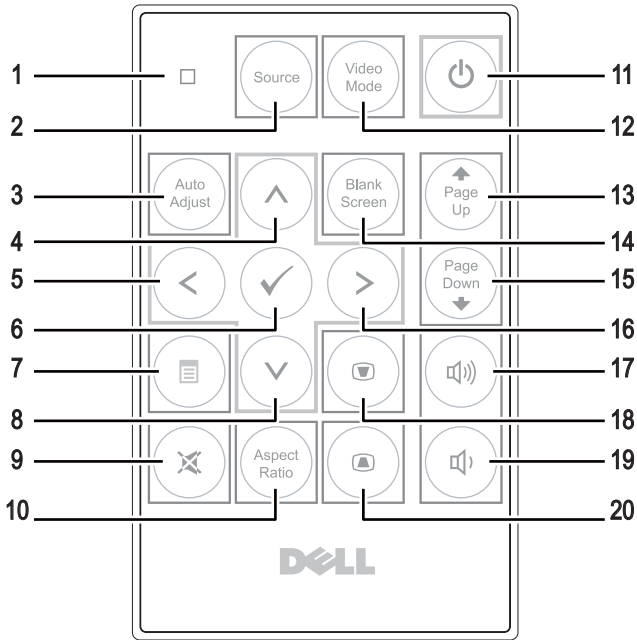


### 1 ランプ警告ライト




ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。ランプライトがオレンジ色で点滅する場合は、ランプドライバまたはカラーホイールが故障しており、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。

2	温度警告ライト	<ul style="list-style-type: none"> <li>温度ライトがオレンジ色で点灯する場合は、プロジェクタ、ランプ、または、ランプドライバが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。</li> <li>温度ライトがオレンジ色で点滅する場合は、プロジェクタのファンまたはカラーホイールが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンすることを示します。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。</li> </ul>
3	電源	プロジェクタの電源を入れたり切ります。詳しくは、「プロジェクタの電源を入れる」ページ 15 および「プロジェクタの電源を切る」ページ 15 を参照してください。
4	アップ  / キーストーン調整	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) 項目を選択します。 このボタンを押して、プロジェクタを傾けた場合の歪みを調整します。 (+40/-35 度)
5	右  / 自動調整	このボタンを押して OSD 設定を調整します。 このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は、 <b>自動調整</b> は作動しません。
6	IR レシーバ	リモコンを IR レシーバに向けてボタンを押します。
7	ダウン  / キーストーン調整	このボタンを押して OSD 項目を選択します。 このボタンを押して、プロジェクタを傾けた場合の歪みを調整します。 (+40/-35 度)
8	メニュー	このボタンを押して OSD を有効にします。方向キーと <b>メニュー</b> ボタンで OSD をナビゲートします。
9	左  / ソース	このボタンを押して OSD 設定を調整します。 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、このボタンを押して、デジタル RGB、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由)、S ビデオソースを切り替えます。
10	入力	このボタンを押して選択項目を確定します。

# リモコンの使用法









1	LED ライト	LED インジケータ
2	ソース	このボタンを押して、デジタル RGB、アナログ RGB、コンポジット、S ビデオ、コンポーネント (YPbPr、VGA 経由) を切り替えます。
3	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD (オンスクリーンディスプレイ) が表示されている場合は、自動調整は作動しません。
4	アップボタン (▲)	このボタンを押して OSD の項目を選択します。
5	左ボタン (◀)	このボタンを押して OSD 設定を調整します。
6	入力	このボタンを押して選択を確定します。
7	メニュー	このボタンを押して OSD を有効にします。
8	ダウンボタン (▼)	このボタンを押して OSD の項目を選択します。
9	消音	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。

10	縦横比	このボタンを押して、表示された画像の縦横比を変更します。
11	電源	プロジェクタの電源を入れたり切ります。詳しくは、「プロジェクタの電源を入れる」ページ 15 および「プロジェクタの電源を切る」ページ 15 を参照してください。
12	ビデオモード	Dell™ 1209S マイクロプロジェクタには、データ（PC グラフィックス）やビデオ（映画、ゲームなど）の表示に最適なプリセット設定があります。 <b>ビデオモード</b> ボタンを押して、 <b>PC モード</b> 、 <b>映画モード</b> 、 <b>ゲームモード</b> 、 <b>sRGB</b> 、 <b>カスタムモード</b> （お好みの設定をセットアップして保存したいユーザー向け）を切り替えます。 <b>ビデオモード</b> ボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度 <b>ビデオモード</b> ボタンを押すと、表示モードが切り替わります。
13	ページアップ 	このボタンを押して前のページへ移動します。
14	ブランク画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
15	ページダウン 	このボタンを押して次のページへ移動します。
16	右ボタン 	このボタンを押して OSD 設定を調整します。
17	ボリュームアップ	このボタンを押して音量を上げます。
18	キーストーン調整	このボタンを押して、プロジェクタを傾けた場合の歪みを調整します。（+40/-35 度）
19	ボリュームダウン	このボタンを押して音量を下げます。
20	キーストーン調整	このボタンを押して、プロジェクタを傾けた場合の歪みを調整します。（+40/-35 度）

## オンスクリーンディスプレイの使用法

プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）があり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。

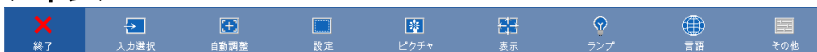
メインメニューのタブの間を移動するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。サブメニューを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの **入力** ボタンを押します。

オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  または  を押します。色が濃い青色になります。項目を選択すると、色が濃い青色になります。コントロールパネルまたはリモコンの  または  を使って設定を調整します。

メインメニューに戻るには、「戻る」タブに進み、コントロールパネルまたはリモコンの**入力**ボタンを押します。

OSDを終了するには、「終了」タブに進み、**入力**ボタンを押すか、または、コントロールパネルまたはリモコンの**メニュー**ボタンを押します。

## メインメニュー



## 入力選択

入力選択メニューを使ってプロジェクトの入力ソースを選択します。



**自動ソース オン**（初期設定）を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクトの電源が入った状態で**ソース**ボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。**オフ**を選択して、現在の入力信号をロックします。**自動ソース**モードが**オフ**に設定されているときに**ソース**ボタンを押す

と、入力信号を手動で選択できるようになります。

**VGA-A**—入力を押して VGA-A 信号を検出します。

**VGA-B**—入力を押して VGA-B 信号を検出します。

**DVI-D**—入力を押して DVI-D 信号を検出します。

**S ビデオ**—入力を押して S ビデオ信号を検出します。

**コンポジットビデオ**—入力を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

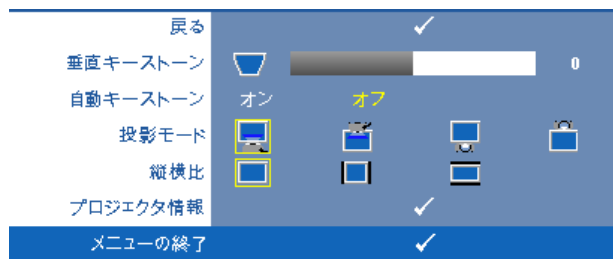
## 自動調整



自動調整を使って、PC モードでプロジェクトの**周波数**と**トラッキング**を自動的に調整します。自動調整中は、「**自動調整が進行中です ...**」というメッセージが画面に表示されます。

## 設定





垂直キーストーン、自動キーストーン、投影モード、縦横比、プロジェクタ情報設定があります。






**垂直キーストーン**—プロジェクタを傾けた場合の画像の歪みを調整します。

**自動キーストーン**—プロジェクタを傾けた場合の画像の歪みを自動調整します。

**投影モード**—プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

-  デスクトップ前面投影 - これは初期設定オプションです。
-  前面投影 - 天井取り付け - 天井取り付で投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。
-  デスクトップ背面投影 - プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
-  背面投影 - 天井取り付け - プロジェクタは画像を反転表示し、上下逆にします。天井取り付で透過画面の裏面から投影できます。

**縦横比**—縦横比を設定します。

-  オリジナル - 入力ソースの縦横比を維持しながら、入力ソースを調整して画面に合わせます。
-  4:3 - 入力ソースを調整して画面に合わせます。
-  ワイド - 入力ソースを調整して画面の幅に合わせます。

次のいずれかの場合場合はワイドまたは4:3を使用します：

- コンピュータの解像度が SVGA よりも高い場合
- コンポーネントケーブル (720p/1080i/1080p) を使用する場合

**プロジェクタ情報**—プロジェクタのモデル名、現在の入力ソース、プロジェクタのシリーズ番号 (PPID#) を表示します。



## ピクチャ (PCモード)

ピクチャメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：



**明るさ** — ◀と▶を使って画像の明るさを調整します。

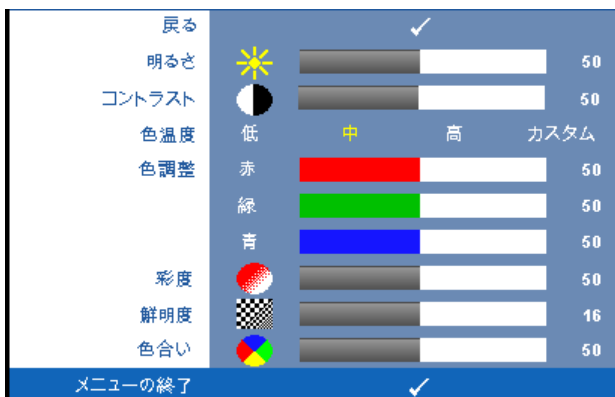
**コントラスト** — ◀と▶を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

**色温度** — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが有効になります。値はカスタムモードで保存されます。

**色調整** — 赤、緑、青の色を手動で調整します。

## ピクチャ（ビデオモード）

ピクチャメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：



**明るさ**—◀️と➡️を使って画像の明るさを調整します。

**コントラスト**—◀️と➡️を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

**色温度**—色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが有効になります。値はカスタムモードで保存されます。

**色調整**—赤、緑、青の色を手動で調整します。

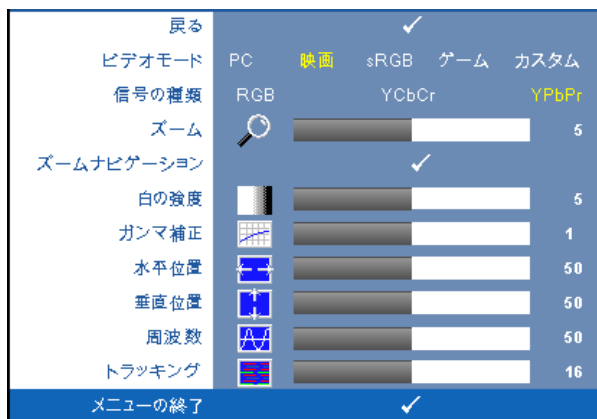
**彩度**—ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。◀️を押して画像の色の量を減らし、➡️を押して色の量を増やします。

**鮮明度**—◀️を押して鮮明度を下げ、➡️を押して鮮明度を上げます。

**色合い**—◀️を押して画像の緑色の量を増やし、➡️を押して赤色の量を増やします（NTSC用にのみ選択可能）。


## 表示 (PC モード)

表示メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：





**ビデオモード**—プロジェクタの表示モードを最適化します：

PC、映画、sRGB（より精密な色を提供します）、ゲーム、カスタム（お好みの設定を設定します）。白の強度またはガンマ補正の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムに切り替わります。

 **メモ**：白の強度またはガンマ補正の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムに切り替わります。



**信号の種類**—RGB、YCbCr、YPbPrの信号の種類から手動で選択できます。



**ズーム**—を押して投影画面の画像をデジタルに最大4倍まで拡大し、を押してズームした画像を縮小します。

**ズームナビゲーション**—   を押して投影画面をナビゲートします。

**白の強度**—0に設定して色の再現性を最大化し、10に設定して明るさを最大化します。

**ガンマ補正**—4つの既定値（1、2、3、4）を調整して、ディスプレイのカラーパフォーマンスを変更します。

**水平位置**—を押して画像を左へ移動し、を押して画像を右へ移動します。

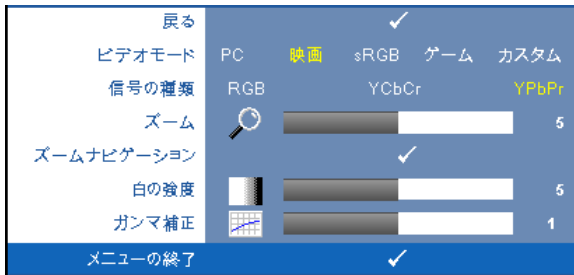
**垂直位置**—を押して画像を下へ移動し、を押して画像を上へ移動します。

**周波数**—ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、**周波数コントロール**を使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

**トラッキング**—ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、**トラッキング**を使って修正します。これは微調整です。

## 表示（ビデオモード）

表示メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：



**ビデオモード**—プロジェクタの表示モードを最適化します：

PC、映画、（より精密な色を提供します）、**ゲーム**、**カスタム**（お好みの設定を設定します）。**白の強度**または**ガンマ補正**の設定を調整すると、プロジェクタは自動的に**カスタム**に切り替わります。



**メモ**：**白の強度**または**ガンマ補正**の設定を調整すると、プロジェクタは自動的に**カスタム**に切り替わります。

**信号の種類**—RGB、YCbCr、YPbPr の信号の種類を手動で選択します。

**ズーム**—**➤**を押して投影画面の画像をデジタルに最大4倍まで拡大し、**➤**を押してズームした画像を縮小します。

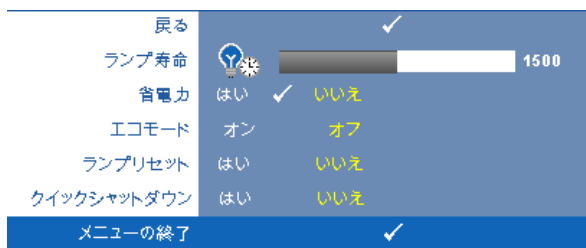
**ズームナビゲーション**—**➤** **➤** **⬆** **⬆**を押して投影画面をナビゲートします。

**白の強度**—0 に設定して色の再現性を最大化し、10 に設定して明るさを最大化します。

**ガンマ補正**—4つの既定値（1、2、3、4）を調整して、ディスプレイのカラーパフォーマンスを変更します。

## ランプ

ランプメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります：



**ランプ寿命**—最後にランプタイマーをリセットしてからの経過時間を表示します。

**省電力**—「はい」を選択して省電力遅延時間を設定します。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。初期設定では、遅延時間は120分に設定されています。遅延時間は、5分、15分、30分、45分、60分、120分に設定できます。

遅延時間内に入力信号が検出されない場合は、プロジェクタはランプをオフにして、省電力モードになります。遅延時間内で入力信号が検出されると、プロジェクタは自動的にオンになります。2時間以内に入力信号が検出されない場合は、プロジェクタは省電力モードから電源オフモードに切り替わります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

**エコモード**—オンを選択すると、プロジェクタは低電力レベル（165 W）で動作します。ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルーミナンス出力が弱くなります。オフを選択すると通常の電力レベル（200 W）で動作します。

**ランプリセット**—新しいランプを取り付けた後で、はいを選択してランプタイマーをリセットします。

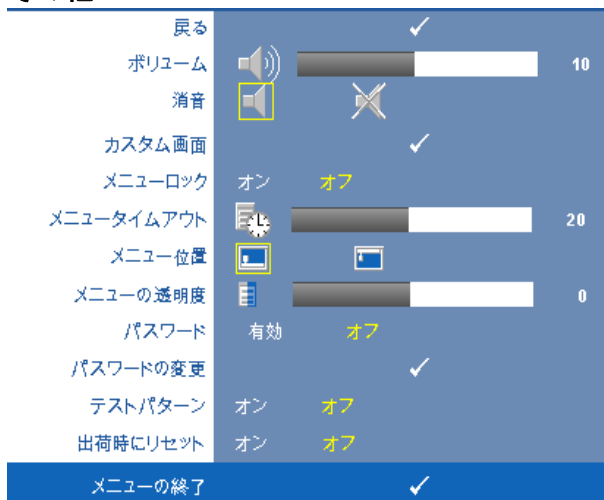
**クイックシャットダウン**—はいを選択し、電源ボタンを一回押してプロジェクタの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクタの電源を素早く切ります。クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。

## 言語

言語メニューで OSD 用の言語を選択します。



## その他




**ボリューム** — ◀と ▶を押して音量を上げたり下げます。

**消音** — サウンドを消音にします。

**カスタム画面** — 入力を押して**カスタム画面**メニューをポップアップ表示します。ネイティブ解像度にソースを入力し、次に「入力」を押して「はい」を選択します。プロジェクタが画面の画像を [マイカスタマイズロゴ] としてキャプチャします。この画面を Dell ロゴのある元の画面とすべて置き換えます。ポップアップ画面で **Dell ロゴ** を選択して、初期設定画面に戻すことができます。

**メニューロック** — オンを選択するとメニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。オフを選択するとメニューロックが無効になり、OSD メニューが表示されます。

 **メモ**：メニューロックが無効で OSD が非表示になる場合は、プロジェクタのコントロールパネルにある**メニューボタン**を 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

**メニュータイムアウト** — OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、30 秒操作しないと OSD は非表示になります。

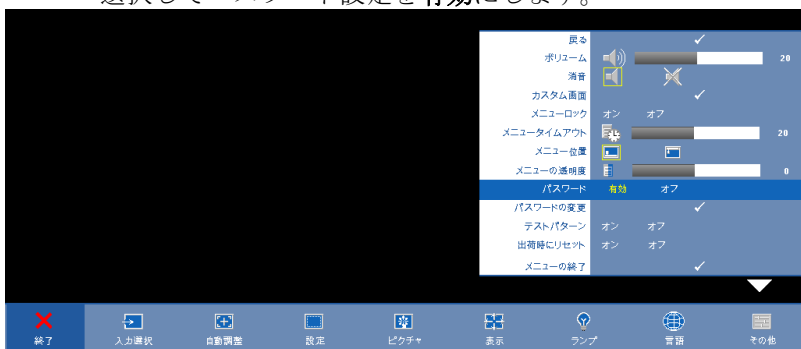
**メニュー位置** — OSD メニューの画面上の位置を選択します。

**メニューの透明度** — OSD 背景の透明度レベルを変更します。

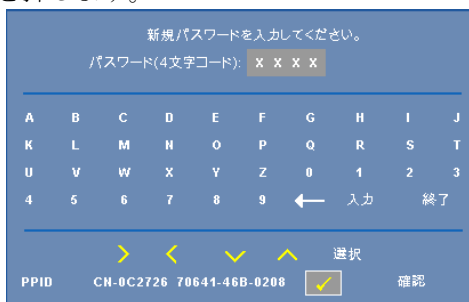
**パスワード**—パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクトの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。パスワードメニューを使ってこの機能を有効にできます。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクトをオンにすると有効になります。この機能を有効にすると、プロジェクトの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。

**1 初回パスワード入力の要請**

- a** その他メニューに進み、入力を押して、次にパスワードを選択してパスワード設定を有効にします。




- b** パスワード機能を有効にすると、文字画面がポップアップ表示されます。4文字のコードを画面から入力して入力ボタンを押します。



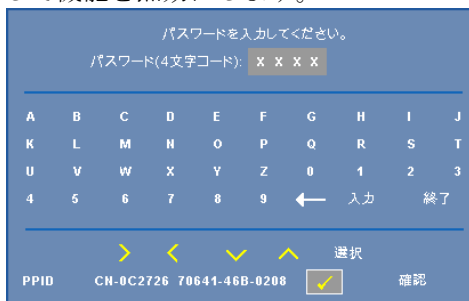
- c** 確認のため、パスワードをもう一度入力します。  
**d** パスワードが認証されると、プロジェクトの機能とユーティリティにアクセスできます。



- 2 間違ったパスワードを入力した場合は、あと2回で正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクタは自動的にオフになります。

 **メモ**：パスワードを忘れた場合は、DELL™ または正規サービス技術者までご連絡ください。

- 3 パスワード機能をキャンセルする場合は、**オフ**を選択し、パスワードを入力して機能を無効にします。



パスワードを入力してください。

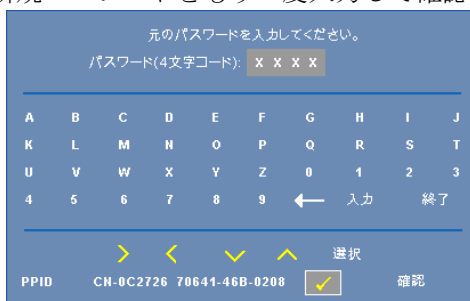
パスワード(4文字コード): X X X X

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

選択

PPID CN-0C2726 70641-46B-0208 確認

**パスワードの変更** —元のパスワードを入力し、次に新規パスワードを入力します。新規パスワードをもう一度入力して確認します。



元のパスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード): X X X X

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

選択

PPID CN-0C2726 70641-46B-0208 確認

**テストパターン** —オンを選択して、フォーカスと解像度を自己テストする内蔵テストパターンを有効にします。**オフ**を選択すると機能は無効になります。

**出荷時にリセット** —オンを選択して、プロジェクタを工場出荷時の初期設定にリセットします。コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

# プロジェクタのトラブルシューティング



プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。「Dell™ へのお問い合わせ」 ページ 44 をご覧ください。

---

## 問題

画面に画像が表示されません。

## 解決方法



- レンズキャップを外して、プロジェクタの電源が入っていることを確認します。
  - 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell™ ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。
  - すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。ページ 7 をご覧ください。
  - コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
  - ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください (ページ 38 をご覧ください)。
  - その他メニューのテストパターンを使います。テストパターンの色が正しいことを確認します。
-

---

## 問題 (続く)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。

## 解決方法 (続く)



- 1 リモコンまたはコントロールパネルの**自動調整**ボタンを押します。
- 2 Dell™ ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を XGA (1024 x 768) に設定します。
  - a Windows デスクトップの使っていない部分を右クリックし、**プロパティ**をクリックして、次に、**設定**タブを選択します。
  - b 外部モニターポートの設定が 1024 x 768 ピクセルになっていることを確認します。
  - c   (Fn+F8) を押します。

解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。

Dell™ ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をお読みください。

---

画面にプレゼンテーションが表示されない。

ノートパソコンをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押します。

---

画像が不安定、または、ちらつく。

OSD **表示**サブメニューでトラッキングを調整します (PC モードのみ)。

---

画像に縦線が入る。

OSD **表示**サブメニューで周波数を調整します (PC モードのみ)。

---

画像の色が正しくない。

- ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、OSD **表示**タブで信号の種類を RGB に設定してください。
- **その他**メニューの**テストパターン**を使います。テストパターンの色が正しいことを確認します。

---

画像の焦点が合わない。

- 1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。
- 2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (3.3 ft [1.0 m] ~ 39.4 ft [12 m])。

問題 (続く)	解決方法 (続く)
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる。	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がまだ横に伸びている場合、OSD の <b>設定</b>メニューでアスペクト比を調整してください。</p>
画像が反転する。	OSD で <b>設定</b> を選択し、投影モードを調整します。
ランプが切れた、または、音がする。	ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、ページ 38 を参照してください。
ランプライトがオレンジ色で点灯	ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。
ランプライトがオレンジ色に点滅します。	<p>ランプライトと電源ライトがオレンジ色で点滅する場合は、ランプドライバが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>ランプライトがオレンジ色に点滅し、電源ライトが青色に点灯すると、カラーホイールに問題があり、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。</p> <p>3分後に電源コードを外してから、ディスプレイの電源を再びオンにします。それでもこの問題が解決されない場合は、Dell™ に連絡してください。</p>
温度ライトがオレンジ色に点灯します。	プロジェクタは過熱状態です。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。
温度ライトがオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。

---

<b>問題 (続く)</b>	<b>解決方法 (続く)</b>
OSD が画面に表示されません。	パネルにあるメニューボタンを 15 秒間押し続けて OSD のロックを解除します。メニューロック ページ 31 を確認します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	電池の残量が少なくなっています。リモコンからの LED インジケータが弱過ぎないか点検します。LED インジケータが弱い場合は、新しい CR2032 電池と交換します。

---

## ランプの交換

**⚠ 警告：**この章で説明する交換処理の前に、ページ 6にある「安全上のご注意」をお読みください。

「ランプは全出力操作で耐用年数の終わりに近づいています。交換をお勧めします。 [www.dell.com/lamps](http://www.dell.com/lamps)」というメッセージが画面に表示されたら、ランプを交換します。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。詳しくは、「Dell™ へのお問い合わせ」ページ 44 をご覧ください。

**⚠ 警告：**ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

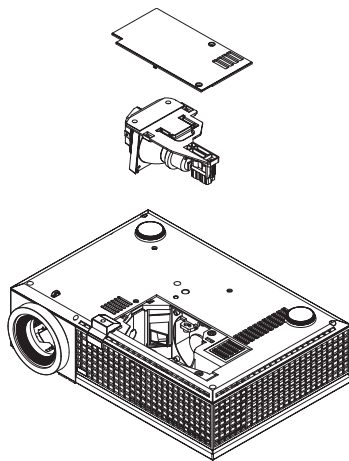
**⚠ 警告：**電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

**⚠ 警告：**ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは [www.dell.com/hg](http://www.dell.com/hg) をご覧ください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

**✎ メモ：**Dell™ は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。

- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。
- 9 OSD ランプタブにあるランプリセットで「はい」を選択して、ランプ使用時間をリセットします。(ランプメニューページ 29 をご覧ください)





**警告：ランプの廃棄（米国のみ）**

Ⓜ 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、**WWW.DELL.COM/HG**、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト **WWW.EIAE.ORG** をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については **WWW.LAMPRECYCLE.ORG** をご覧ください。

## 仕様

ライトバルブ	0.55" SVGA DMD タイプ X、DarkChip1™
明るさ	2500 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	1800:1 標準 (フルオン/フルオフ)
均質性	85% 標準 (日本規格 - JBMA (日本事務機械工業会))
画素数	800 x 600 (SVGA)
表示可能な色	16.7M 色
カラーホイール速度	2X
投影レンズ	F ストップ : F/2.41~2.55 焦点距離、f=21.8~24 mm 1.1 倍マニュアルズームレンズ
投影画面サイズ	22.89-302.8 インチ (対角線)
投影距離	3.3~39.4 ft (1.0 m~12 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオビデオ / S ビデオ : NTSC (J, M, 4.43), PAL (B, D, G, H, I, M, N, Nc, 60), SECAM (B, D, G, K, K1, L)  コンポーネントビデオ (VGA & DVI-D 経由) : 1080i/p, 720p, 576i/p, 480i/p
電力供給	ユニバーサル AC90-264 50/60 Hz、PFC 入力付き
消費電力	フルモードでは 256 ワット、エコモードでは 216 ワット
オーディオ	スピーカー x 1、8 W RMS
ノイズレベル	34 dB(A) フルオンモード、31 dB(A) エコモード
質量	4.95 lbs (2.25 kg)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	外形 11.68 x 7.96 x 3.17 ± 0.04 インチ (296.5 x 202 x 80.5 ± 1 mm)

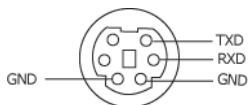


環境条件	動作温度：5°C - 35°C (41°F- 95°F) 湿度：80% 最大 保管温度：0°C ~ 60°C (32°F ~ 140°F) 湿度：90% 最大
規格	FCC、CE、VCCI、UL、cUL、Nemko-GS、ICES-003、MIC、C-Tick、GOST、CCC、PSB、NOM、IRAM、SABS、CECP、SASO、PSE、eK
I/O コネクタ	電源：AC 電源入力ソケット コンピュータ入力：アナログ / コンポーネント、HD テレビ入力信号用 D サブ x 2 コンピュータ出力：15 ピン D サブ x 1 ビデオ入力：コンポジットビデオ RCA x 1 および S ビデオ x 1 オーディオ入力：フォンジャック x 1 (直径 3.5 mm) オーディオ出力：フォンジャック x 1 (直径 3.5 mm) USB ポート：リモートサポート用 USB スレーブ x 1 PC からのワイヤドリモコン用ミニ DIN RS232 x 1 DVI-D 入力：DVI-D 信号用 DVI-D コネクタ x 1 (HDCP 準拠)。
ランプ	165~200-W ユーザ交換可能 3000 時間ランプ (エコモードで最大 4000 時間)



**メモ：** プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件でプロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。Dell のプロジェクタに対して指定されたランプ寿命は、ストレスのない操作条件下で、50% 以上のサンプリング集団に対して、ランプの定格された明るさレベルが約 50% 低減した場合の標準時間を参照しています。これは、ランプが光熱出力を停止する時間の単位ではありません。

## RS232 ピン割り当て



## RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート :	19200
データビット :	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ

OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。

- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクトへ)

[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]

- 例 : 電源オンコマンド (ローバイトを最初に送信)

--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01

- 制御コマンドのリスト

最新の RS232 コードについては、次の Dell Support サイトをごらんください：  
[support.dell.com](http://support.dell.com)。

## 互換モード(アナログ/デジタル)

解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)
640X480	59.9	31.5
640X480	75	37.5
640X480	85	43.3
720X400	70.1	31.5
720X400	85	37.9
800X600	60.3	37.9
800X600	75	46.9
800X600	85.1	53.7
848X480	60	31
1024X768	60	48.4
1024X768	75	60
1024X768	85	68.7
1280X720	59.9	44.8
1280X768	59.9	47.8
1280X800	59.8	49.7
1280X1024	60	64
1280X1024	75	80
1280X1024	85	91.1
1360X768	60	47.7
1400X1050	60	65.3
1440X900	59.9	55.9
1680X1050	60	65.3
1600X1200	60	75

# Dell™ へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



**メモ:** インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、またはデル製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

デルでは、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関するデルへのお問い合わせ：

- 1 [support.dell.com](https://support.dell.com) をご覧ください。
- 2 ページの一番下にある **(国 / 地域を選択する)** ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
- 3 ページの左側にある **(連絡する)** をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 デルへの連絡方法を選択します。

# 付録：用語集

**ANSI ルーメン**—明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

**縦横比**—最も一般的な縦横比は 4:3 (4 x 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

**明るさ**—ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

**色温度**—白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

**コンポーネントビデオ**—高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

**コンジットビデオ**—ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

**圧縮解像度**—入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

**コントラスト比**—画像の明るさの値と暗さの値の範囲、または、最大値と最小値の比率。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 フルオン/ オフ-完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 ANSI - 16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

**dB**—デシベル—通常、2 つの音響信号または電子信号の間で電力と強度の相対的な差異を表す単位で、2 つのレベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

**対角画面** —画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1つの角から対角線上の角までを測定します。9FT 高さ、12FT 幅の画面の対角線は15FTです。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の4:3の比率用とみなします。

**DLP®**—Digital Light Processing™ (デジタル光処理)—Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

**DMD**—digital Micro- Mirror Device (デジタル・マイクロミラー・デバイス) —各 DMD は、見えないヨークに取り付けられた数千の傾斜した微視的なアルミニウム合金ミラーから成ります。

**DVI-D**—Digital Visual Interface-Digital connector (デジタル・ビジュアル・インターフェース - デジタルコネクタ)。

**焦点距離** —レンズの表面からその焦点までの距離。

**周波数** —電気信号の1秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

**Hz (ヘルツ)** —周波数の単位。

**キーストーン補正** —プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

**最大距離** —プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

**最大画像サイズ** —暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

**最小距離** —プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

**NTSC**—National Television Standards Committee (全米テレビ放送規格委員会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

**PAL**—Phase Alternating Line (走査線位相反転)。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

**画像の反転** —画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

**RGB**—Red, Green, Blue (赤、緑、青) —3色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

**S ビデオ** —4 ピンの小型 DIN コネクタを使って、ルミナンス (明るさ、Y)

とクロミナンス（色、C）と呼ばれる2本の信号ワイヤでビデオ情報を送信するビデオ伝送方法です。SビデオはY/Cとも呼ばれます。

**SECAM**—ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PALに大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

**SVGA**—Super Video Graphics Array（スーパービデオグラフィックスアレイ）—800 x 600 ピクセル。

**SXGA**—Super Extended Graphics Array（スーパー拡張グラフィックスアレイ）—1280 x 1024 ピクセル。

**UXGA**—Ultra Extended Graphics Array（超拡張グラフィックスアレイ）—1600 x 1200 ピクセル。

**VGA**—Video Graphics Array（ビデオグラフィックスアレイ）—640 x 480 ピクセル。

**XGA**—Extended Video Graphics Array（拡張ビデオグラフィックスアレイ）—1024 x 768 ピクセル。

**ズームレンズ**—可変式焦点距離のレンズで、画像を縮小したり拡大して表示できます。

**ズームレンズ比**—レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの10フィート画像が、フルズームでは14フィートになることを意味します。

# 索引

## お

- オンスクリーンディスプレイ 22
  - その他 31
  - ピクチャ (PC モード) 25
  - ピクチャ (ビデオモード) 26
- メインメニュー 23
- ランプ 29
- 言語 30
- 自動調整 23
- 設定 24
- 入力選択 23
- 表示 (PC モード) 27
- 表示 (ビデオモード) 28

## か

- コントロールパネル 19

## さ

- サポート
  - デルへのお問い合わせ 44

## 仕様

- I/O コネクタ 41
- RS232 プロトコル 42
- オーディオ 41
- カラーホイール速度 40
- コントラスト比 40
- ノイズレベル 41
- ビデオ互換性 40
- ライトバルブ 40

- ランプ 40
- 画素数 40
- 環境条件 41
- 規格 41
- 均質性 40
- 互換モード 43
- 質量 41
- 消費電力 40
- 寸法 41
- 電力供給 40
- 投影レンズ 40
- 投影画面サイズ 40
- 投影距離 40
- 表示可能な色 40
- 明るさ 40

## 接続ポート

- DVI-D 入力コネクタ 7
- RS232 コネクタ 7
- S ビデオコネクタ 7
- USB リモートコネクタ 7
- VGA-A 出力 (モニターループスルー) 7
- VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ 7
- VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ 7
- オーディオ出力コネクタ 7
- オーディオ入力コネクタ 7
- コンポジットビデオコネクタ 7
- セキュリティケーブルスロット 7



電源コードコネクタ 7

## た

デルへの

お問い合わせ 44

デルへのお問い合わせ 5, 19, 20,  
36, 38

トラブルシューティング 34

デルへのお問い合わせ 34

電話番号 44

投影画像の調整 16

プロジェクタの高さ調整 16

プロジェクタを下げる

エレベーターフット 16

エレベーターボタン 16

傾斜調整ホイール 16

## は

プロジェクタのズームとフォーカスの調整 17

ズームタブ 17

フォーカスリング 17

プロジェクタの接続

DVI-D アダプタ 14

HDMI ケーブル 14

HDMI ケーブルでの接続 14

RS232 ケーブル 10

RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続 10

S ビデオケーブル 11

S ビデオケーブルでの接続 11

USB - USB ケーブル 8, 9

VGA - VGA ケーブル 8, 9

VGA - YPbPr ケーブル 13

コンピュータへ 8, 9

コンポーネントケーブルでの接続 13

コンジットケーブルでの接続 12

コンジットビデオケーブル 12

電源コード 8, 9, 10, 11, 12, 13,  
14

プロジェクタの電源を入れる / 切る

プロジェクタの電源を切る 15

プロジェクタの電源を入れる 15

本体 6

IR レシーバ 6

エレベーターボタン 6

コントロールパネル 6

ズームタブ 6

フォーカスリング 6

レンズ 6

## ら

ランプの交換 38

リモコン 21

IR レシーバ 20